

# 第 102 回国際大会報告書

(イタリア・ミラノ 2019年7月4日-7月9日)

## I. 国際役員を選出

7月7-9日にMiCo(ミラノ・コンベンションセンター)で行われた投票で、本年度国際役員が別紙1の通り選出されました。

国際会長には、韓国のジュンヨル・チョイDr. Jung-Yul Choi元国際第一副会長、国際第一副会長には米国ジョージア州のHaynes H. Townsend元国際第二副会長、国際第二副会長には、米国ミネソタ州のBrian E. Sheehan国際第三副会長、国際第三副会長には、カナダのDr. Patricia Hill元国際理事が選ばれました。東洋東南アジア地域からの国際理事として、日本から川島正行元地区ガバナー(333-E地区・土浦北LC)及び渡部雅文元協議会議長(336-B地区・倉敷西LC)、韓国からKyu-Dong Choi元協議会議長、中国からGuo-jun Zhang元地区ガバナーが選出されました。

## II. 2019-2020 年度国際理事会委員会

日本からの国際役員の所属委員会は次の通りです。

安澤 莊一 国際理事	大会委員会 副委員長
川島 正行 国際理事	大会委員会
渡部 雅文 国際理事	リーダーシップ委員会

## III. LCIF国際役員

山田 實紘 元国際会長	LCIF 副理事長 LCIFキャンペーン 100 国際委員長
鈴木 誓男 元地区ガバナー	LCIF理事

## IV. 国際会則の改正

7月7-9日にMiCo(ミラノ・コンベンションセンター)で行われた投票により、上程された改正案はすべて可決されました。(別紙2)

## V. 新国際会長の就任

閉会式でジュンヨル・チョイ新国際会長の就任セレモニーが行われました。新国際会長の略歴は別紙3の通りです。カラー顔写真は国際協会HP(日本語版)からダウンロードしてください。

国際会長【写真】ダウンロード先:

<https://www.lionsclubs.org/sites/default/files/division/marketing/headshots/choi-jung-yul.jpg>

引き続き国際テーマは『ウィ・サーブ』、チョイ国際会長は個人のテーマ表現を「多様性でウィ・サーブ」としています。詳しくは次の国際協会ウェブサイト(日本語版)URLからダウンロードしてください。

LCI公式ウェブサイト国際会長テーマ掲載ページ:

<https://lionsclubs.org/ja/discover-our-clubs/presidential-theme>

ビデオ掲載先:

<https://youtu.be/sTrdQhzZ-2c>

<https://youtu.be/s3WoyMmW7Ho>

<https://youtu.be/uzO72VxjvM8>

## VI. 国際コンテスト

国際大会の際に行われたコンテストについて日本からの入賞はありませんでした。

また、インターナショナル・パレードについて日本からの入賞は次の通りです。

### ・ <国際パレード>

第二部門コンテスト(代表団の境界線外から雇われたグループ)

バンド 1位: 日本 ラ バンダ デ チェルヌスク La Banda de Cernusc

## VII. 表彰

### (1). ライオンズ人道主義大賞 (Humanitarian Award)

閉会式で、世界的に著名なコンゴ民主共和国の産婦人科医、社会活動家であるノーベル平和受賞者デニス・ムクウェゲ医師が受賞しました。ムクウェゲ医師は長年にわたって紛争が続くコンゴ東部で、多発する性暴力の被害女性に治療を行ってきました。また、武器として性暴力が使われることを非難する活動を世界中で行っています。授賞式にはご本人のビデオメッセージが発表され、今後の支援に25万ドルが贈呈されました。ムクウェゲ医師博士については以下をご参照下さい。

国際協会公式ウェブサイト掲載ページ(別紙4)

コンゴ パンジー病院ウェブサイト(仏語)

<https://www.hopitaldepanzi.com/dr-denis-mukwege>

### (2). 国際平和ポスター・コンテスト

2018-2019 年度国際平和ポスター・コンテスト大賞は、Yi-Chih・Lin さん (New Taipei City Yung Ho LC スポンサー・台湾)、日本からの優秀賞受賞はありませんでした。

### (3). 国際作文コンテスト

視覚障がいのある青少年を対象とした 2018-2019 年度国際作文コンテスト大賞は、Mikayla Ansley さん (Blyth LC スポンサー・カナダ) が受賞しました。

## VIII. 初日総会(7月7日)

グドラン国際会長から年次報告、国際平和ポスター・コンテストの紹介、2019-2020 年度国際第 3 副会長候補者 2 名の選挙演説及びインスタレーション、フラッグ・セレモニーなどが行われました。

## IX. 二日目総会(7月8日)

ナレシュ・アガワル LCIF 理事長の年次報告と表彰、キャンペーン 100 のプレゼンテーションなどが行われました。

トニー・ブレア元英国首相から、開発途上国支援や糖尿病問題などについて対談形式の基調講演がありました。ブレア氏は在任期に、教育や医療分野の改革を推進、北アイルランドの和平及びアフリカへの対外援助に向け尽力し、気候変動に関する法案にも取り組みました。豊富な国際的経験から、現在ではトニー・ブレア・インスティテュート・フォー・グローバル・チェンジを創設、テクノロジーが労働に及ぼす影響や社会の不平等など、地球規模の課題に取り組んでいます。ブレア氏については以下をご参照ください。

国際協会公式ウェブサイト掲載ページ(別紙 5)

トニー・ブレア氏所属団体(The Tony Blair Institute for Global Change) ウェブサイト (英語)

<https://institute.global/>

## X. 参加代議員及び補欠数(7月9日閉会式発表)

7月9日閉会式時点の発表では、全世界からの投票代議員数は 5,314 名でした。日本からの代議員数等は、秋季国際理事会にて公式に発表される予定です。

## XI. ミラノ国際大会の大会登録者数

全世界からの登録数、日本からの登録数について、公式な登録数は例年秋季国際理事会にて発表される予定です。また、日本からのパレード参加者数は 1,600 名前後とのことです。

## XII. 各種セミナー

今大会では以下の日本語通訳のあるセミナーがありました。

### (1) LCIF キャンペーン 100 セミナー: LCIFに参加して世界を変えよう (7月5日)

キャンペーン委員長である山田實紘元国際会長から、この 50 年間に LCIF は 10 億ドルの交付を行っており、今後も一層必要な支援を行っていくため、ストーリーの共有やフェイスブックなどにより世界にインパクトを与え、全てのメンバーがキャンペーン参加すること(全会員一人年 100 ドル=1億ドルの寄付)が呼びかけられました。また、小児がんや環境、視力等支援を要する重要分野についてのクイズ、モデルクラブやファンドレイジングへの取り組み成功例が紹介されました。

### (2) 地区の管理-地区ガバナーエレクト対象の特別プログラム(7月6日)

DGE およびそのチームのためのセミナーが開催されました。

(3) **ビジネス・セッション(7月6日)**

各国際理事候補者の紹介があり、各理事候補者及び推薦者1名が登壇、スピーチを行いました。議事規則委員会からの報告や指名委員会からの予備報告、会則及び付則委員会からの報告がありました。

(4) **キャンペーン 100: LCIF 奉仕に力を(7月7日)**

LCIFコーディネーターを中心に一般参加も多くありました。チョイ第一副会長からこの50年間にLCIFでは10億ドルの交付をしており、これからの3年間では3億ドルを集め、必要とされる交付を行っていくとのことでした。地域社会にストーリーを広めライオンズクラブのインパクトを高めるとともに、地域の異なるニーズに応えるべきとのことでした。また、全員のキャンペーン参加が呼びかけられ、空港や大会会場へのコイン回収箱設置等の取り組み例の紹介がありました。

(5) **クラブを優秀へと導く方法[地区・クラブ役員向けセミナー](7月7日)**

クラブを活気づけ、優れたクラブを目指す戦略についてのセミナーが開催されました。

(6) **スペシャルティクラブセミナー: 特別な関心事でつながる伝統的クラブ(7月7日)**

来年度の主要プログラムについてサンジャイ・ケタン元国際理事が講演者を務められ、奉仕分野やライフステージ、職業、文化など共通点による新クラブ結成及び新会員呼び込みについて説明がありました。

(7) **今年度のニューヴォイス! (7月7日)**

サンギータ・ジャティア元国際理事が進行され、ニューヴォイス・プログラムの素晴らしい1年間を振り返りました。グドラン国際会長から、地域により異なるニーズに耳を傾け、柔軟に対応できたことが、素晴らしい成果につながったとのコメントがあり、各会則地域の代表から、この一年の活動と成果の発表と報告がありました。

(8) **グローバル・アクション・チーム成功事例: 行動が違いをもたらすところ(7月8日)**

GAT委員長であるカジット・ハバナナダ元国際会長から、クラブと地域社会に直接インパクトをもたらすGAT活用方法について説明がありました。GATネットワークを利用して新会員とつながり、奉仕強化及びクラブの効果を高めている成功事例が紹介されました。

(9) **ゾーンチェアパーソン・セミナー(7月8日)**

効果的運営とゾーンチェアパーソンの重要な役割について、トム・ゴードン国際理事の進行により、国際協会重要テーマ、クラブ問題への対応、オンライン資料の取得方法など説明および参加者からの質問やコメントを交えながら情報共有がされました。

### XIII. 今後の国際大会の日程と開催地

- <第103回> 2020年6月26~30日 シンガポール
- <第104回> 2021年6月25~29日 カナダ・ケベック州モントリオール
- <第105回> 2022年7月1~5日 インド・ニューデリー
- <第106回> 2023年7月7~11日 米国マサチューセッツ州・ボストン
- <第107回> 2024年6月21~25日 オーストラリア・メルボルン
- <第108回> 2025年7月4~8日 メキシコ・メキシコシティ
- <第109回> 2026年 米国ジョージア州・アトランタ

2019年7月24日  
一般社団法人 日本ライオンズ